



# おにぎり通信

2014年3月8日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷周辺と銀座・日比谷公園、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

「春よ来い 早く来い／あるきはじめて みいちゃんが／赤い鼻緒の じよじよはいて／おんもへ出たいと 待っている」「春よ来い 早く来い／おうちのまえの 桃の木の／つばみもみんな ふくらんで／はよ咲きたいと 待っている」。おなじみの童謡『春よ来い』です。作詞を手がけたのは新潟県糸魚川市出身の詩人・相馬御風という人で、歌詞に登場する「みいちゃん」は、相馬御風の長女の文子がモデルだそうです。雪に閉ざされた越後の冬のなか、「じよじよ(草履)」を履いて早く「おんも(外)」に出たい」と春を心待ちにする気持ちが伝わってきます。この冬は東京も雪も多かったので、春が一刻でも早く来てほしいと願います。昨年の都内の桜の開花は3月16日と異常に早かったのですが、今年はどうでしょうか。4月になってからとの開花予想もあります。

〈2月24日 福祉行動報告〉

どなたもお見えになりませんでした。



次回の福祉行動：3月10日(月)。東京駅丸の内北口地下・喫煙所脇の車輪のところに朝8時30分までに集合です。

病院に行きたい方や、体を休めたい方と一緒に「福祉事務所」や「聖イグナチオ生活相談室」まで、ボランティアが同行いたします。福祉行動は原則として毎週月曜日です。福祉行動は参加されるそれぞれの方が、ご自身の希望をご自身の言葉でハッキリと伝えることにより成り立ちます。

もより ふくしじむしょ  
最寄の福祉事務所ほか

ちゅうおうくふくしじむしょ ちゅうおうくつきじ ちゅうおうくやくしよ かい  
中央区福祉事務所・中央区築地 1-1-1 中央区役所 4階

ちよだくふくしじむしょ ちよだくくだんみなみ ちよだくやくしよ かい  
千代田区福祉事務所・千代田区九段南 1-2-1 千代田区役所 3階

せい せいかつそうだんしつ ちよだくこうじまち せい きょうかいない  
聖イグナチオ生活相談室・千代田区麴町 6-5-1 聖イグナチオ教会内

「今の若者は打たれ弱い」などと言われることがあります。このことばを聞くたびに、「なんだか違うのではないかな～」と私は首をかしげます。それは、私自身、けっして打たれ強い若者ではありませんでしたし、いい年になったいまでも、軟弱な人間だからです。

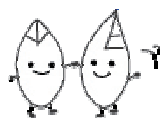
若者を「打たれ弱い」と評する裏には、「打たれて弱ることさえ許されない」という、今の世の中の風潮があるように思えてなりません。

何かを失敗したり、弱みを見せたりすることを許されず、常に成功し、若者らしく強くあるように世間から求められる。それは弱肉強食の世界であり、敗者復活のない社会です。

私は「打たれ弱さ」というのは感受性の柔軟さの表れだと思いますし、若者にかぎらず、どんな年齢の人も持っている当たり前の側面です。

にもかかわらず打たれ弱さを許さない今の世の中では、本来はだれでも打たれ弱いはずの私たちが抱えるストレスはとて大きいものです。ふつうに日常生活を送っていても、知らないうちにストレスを溜めこんでいるのではないのでしょうか。

こんなことを書いているうちに、『ペイ・フォワード 可能の王国』という映画を思い出しました。ペイ・フォワードとは、自分が受けた思いやりを、その相手に返すのではなく、別の3人の相手に渡すというものです。主人公の少年が渡した相手は、仕事に就かない薬物中毒の男、少年時代に親からの虐待で大やけどを負った学校の先生。そして、いじめられている同級生。この少年は不幸にも死んでしまうのですが、「思いやりのネズミ講」は3人から9人、27、81、243、729人……というぐあいにネズミ算式に増殖していくというストーリーです。自分もまわりの人間も弱さを抱えて生きているのだからと思えるようになれば、見える景色もちがってくるのではないのでしょうか。



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せずに、ゴミ箱に入れるなどして片付けにご協力をお願いいたします。おにぎりはかならずその日のうちにお召し上がり下さい。一人でも多くの方に召し上がっていただくため、おにぎりは一人一個でお願いいたします。

四ツ谷おにぎり仲間 連絡先：090-4959-0652 岩田